

磐梯山ジオパーク通信

Vol.2

8月号

■ 磐梯山ジオパーク通信 8月号

お盆も過ぎ、夕方には少しずつ涼しい風が吹くようになってきました。野外での活動が気持ちの良い季節となりましたので、ますます広報にも力を入れていきたいと思っています。

さて、来月9月は磐梯山ジオパーク再認定審査の書類（プログレスレポート）の提出を控えています。提出を前に、広報啓発部会・教育普及部会・調査研究部会の3つの部会を開催し、意見を頂戴しました。日本ジオパーク委員会の皆様へ前回の審査から4年間の間に実施してきた事をしっかりと伝えられるよう準備したいと思います。

■ 8月19日磐梯山ジオパーク 3部会（広報啓発・教育普及・調査研究）開催

8月19日に磐梯山ジオパークの3つの部会を開催しました。部会では再認定審査で提出するプログレスレポート*1の内容確認や意見交換、アクションプランの進捗状況について話し合いが行われました。11月には審査員による現地調査を控えています。各部会の皆様には、今後ご協力をお願いする場面が増えて行くと思いますので、引き続きご支援をいただければと思います。



● 広報啓発部会

広報啓発部会では観光協会や商工会の方々にお集りいただき、来訪者への案内や住民とつながるための取り組み、パートナーシップ協定について話し合いました。

QRコードを使用した多言語対応やアクセス方法について工夫ができないか、といった点や来訪者満足度に関するアンケート調査ができないか、など意見が交わされました。

● 教育普及部会

教育普及部会ではガイド団体や関連施設の方々にお集りいただきました。ガイド料金の改定に関することや、磐梯山ジオパークのガイド組織の在り方、ガイドのスキルアップについて活発に意見が交わされました。

● 調査研究部会

調査研究部会では学術関係の方々にお集りいただき、再認定審査で課題が挙げられていた気候変動対応について意見を頂いたり、アクションプランの進捗確認ではジオサイトの新規開拓や、モニタリングデータの公開について話し合われました。

*1 プログレスレポートとは、これまでの活動を振り返る報告書のこと。

再認定審査はプログレスレポートによる書類審査と現地審査とが行われる。

磐梯山ジオパーク通信 2025. 8

■ 活動報告（7月～8月にかけて）

● 学びいなまつりに出展しました

7月20日・21日に猪苗代町で行われた学びいな祭りに出展し、巨大サイコロパズルや手のひらに乗る磐梯山ジオラマ作りを行いました。

とても暑い日でしたが、来場者の皆様と楽しくお話ししたり、ジオラマづくりをすることができました。



● 磐梯山ジオパーク『ワクワクジオパーク展』を開催しました

猪苗代町の図書館、和みいなで7月19日～8月24日まで磐梯山ジオパークを紹介するワクワクジオパーク展を行いました。

期間中の休日には、ジオガイドによるおしゃべり散歩やジオラマづくりも行い、地域の皆さんとたくさん交流することができました。



● 7月～8月にかけて出前授業や教育旅行の受け入れを行いました

夏休み前は各学校で五色沼や雄国沼、蛇追ヶ滝などのジオサイトでフィールド学習が盛んに行われ、地域の『宝』を子ども達とたくさん見つけることができました。

また、夏休み期間中は教育旅行の受け入れも行い、県外の学校の皆さんに磐梯山周辺の魅力を伝えることができました。



■ お知らせ

●山本芳翠の『磐梯山破裂之図』や東山魁夷の『萬綠新』が郡山市立美術館に展示されています

郡山市立美術館で開催中の「皇室を彩る美の世界 福島ゆかりの品々」では、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する『磐梯山破裂之図 山本芳翠作』や『萬緑新 東山魁夷作』など、ジオサイトに関連する作品が展示されています。

開催期間は8月31日までです。貴重な資料が見られるこの機会を、ぜひお見逃しなく！

なお、7月19日に磐梯山噴火記念館の佐藤公館長が『山本芳翠と磐梯山の噴火』という題で講演会を行いました。磐梯山破裂の図について詳しく知りたい方は、ぜひ磐梯山噴火記念館の佐藤館長にお話しを伺ってみてください。



美術館ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>

- 磐梯朝日国立公園インタープリテーション全体計画が進められています

現在、環境省が主体となり地域の『宝』をまとめ、来訪者へその『宝』の価値や魅力をわかりやすくまとめた冊子を作成するインタープリテーション全体計画というプロジェクトが進められています。

第1回目は8月1日に磐梯町で話し合いが行われ、海津運営委員長が講演を行いました。今後、2回目・3回目と意見を集約していくそうです。ぜひ、運営委員の皆様やジオガイドの皆様にもご参加いただければと思います。

2回目（9月開催）の日程が決まり次第、またご案内したいと思います。

ご協力いただけの方は事務局までご一報ください。



●日本ジオパーク全国大会in十勝岳に参加します

9月27日～28日に開催される日本ジオパークの全国大会に海津ゆりえ運営委員長はじめ事務局3名が出向き、各会議や情報交換会、分科会に参加します。全国のジオパークの方々と情報交換し、今後の磐梯山ジオパークの活動に活かせるよう学んで参ります。

また、当協議会運営委員の佐藤公館長（磐梯山噴火記念館）はJGN防災ワーキンググループの分科会で『全国のジオパークで取り組んでいる防災活動』というテーマで登壇されます。

全国大会で得た情報などは、皆様にも共有できる
よう努めます。



大会ホームページ：<https://2025.tokachidake-geopark.jp/>

■お知らせ（書籍の紹介）

●大地と人の物語 地質学でよみとく日本の伝承

日本地質学会編集の『大地と人の物語』には当協議会、前運営委員長である竹谷陽二郎先生（地質学者）が執筆した「磐梯山の岩なだれが造りだした地形・奇岩」の章があります。

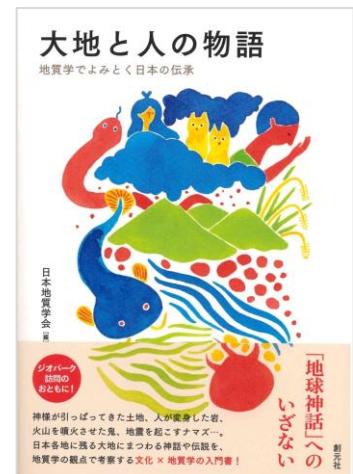
今年5月に開催した地質の日ジオツアーオンラインの内容と重なるお話をたくさん収められています。

また、他地域の伝承や伝説も書かれており、各章読み応えのある内容となっています。事務局に1冊寄贈いただきましたので、ご興味のある方はぜひ事務局へお立ち寄りください。

・書籍情報

日本地質学会 [編] ,創元社,ISBN978-4-422-44047-7 (定価2,860円)

ブックトレーラー：https://youtu.be/B8H0HCUMkNY?si=6r-v_6-M7adq8lbF



■ジオサイト紹介 A桧原湖北岸エリア1：小谷山城跡 歴史・文化サイト



流紋岩の貫入岩体を作る峰に立地する。会津米沢街道沿いの旧桧原宿北東方にあり、標高954mの山に造られた城。会津攻めの伊達政宗軍が葦名家の家臣穴沢一族を討破ったあとに築いた中世の山城で、政宗が会津で築いた唯一の城である。別名「桧原城」とも呼ばれる。現在は平場、空堀などの跡を見ることができる。

■用語集

日本ジオパーク全国大会

全国のジオパークが一堂に会し、多くの方にジオパークを知っていただく場のこと。また、各ジオパーク同士で意見交換や研究発表、最新の動向などを共有し一層の発展と向上を目指す大会。

インタープリテーション

自然や歴史、文化などの価値や意味、過去や未来といった見えないものを目の前の見えるものを通して伝える技術のこと。

ジオサイト

ジオパークの見どころとなる場所。

流紋岩

マグマが地表または地表近くで急激に冷え固まったもの。鉱物として透明な石英や白色の長石を多く含む。

貫入岩体

マグマが地表に噴出せず、地下で固まったもの。

平場

山を削って平らにした場所のこと。

空堀

城の周囲に掘られた溝で、水がはされていない堀のこと。敵の侵入を防ぐためのもの。

磐梯山ジオパーク協議会事務局

〒969-2701

福島県耶麻郡北塙原村大字桧原字剣ヶ峯1093
(裏磐梯合同庁舎内)

TEL/FAX：0241-32-3180

Eメール(代表)：bandaisan.geo@gmail.com